



東京女子大学理事会 御中  
東京女子大学理事 各位  
東京女子大学評議員会 御中  
東京女子大学評議員 各位  
東京女子大学教授会 御中  
東京女子大学教授会構成員 各位

## 東京女子大学旧体育館保存のための緊急アピール

### —体育兼社交館のルネサンスのために—

1924（大正 13）年、現在の地に移転した東京女子大学のキャンパスの中心に、ユニークな体育館が姿を現わしました。この「体育兼社交館」は、「品格ある社会性の涵養」の場として、歴代の学生に親しまれてきました。2009 年、この旧体育館が、キャンパス再開発事業のあおりで解体の危機に瀕しています。その一方で、解体再考を求める学内外の声は、かつてない盛り上がりを見せています。3月に行なわれた公開シンポジウムと、その記録集は、保存を要望し活用を提案する人々の輪が無視しえぬ広がりを見せていることを示しました。こうした声の広がりには、貴学の伝統を敬い将来の発展を願う市民や専門家、学内者の思いの深さを表わしています。にもかかわらずこのまま解体工事を始めれば、東京女子大学の輝かしい栄誉を損じかねません。そのような道を選ばれることのないよう、貴学のために、以下の通り進言させていただきます。

アントニン・レーモンドの傑作の一つ、旧体育館は、大正期に建造された国内に現存する大学体育施設として稀有のものであり、全体にも細部にも工夫の凝らされた重要文化財級の近代建築として、かけがえのない価値を有しています。そればかりではありません。創設者 A.K.ライシャワー、新渡戸稲造、安井哲らの教育理念を具現すべく建てられ、築 85 年を経てなお健在なこの校舎は、貴学が近代日本の女子高等教育に果たしてきた多大な貢献のシンボルであり、女子大学の将来を切り拓く人格形成の場として幾重もの活用ポテンシャルを秘めています。新築を売り物にする他大学には望むべくもない至宝である体育兼社交館は、貴学の美しいキャンパスのなかでも、学生や市民にとっての最大の魅力の一つとなることでしょう。

他のレーモンド建築七棟を文化庁登録有形文化財に申請登録されたことに対しては、賛辞を送りたいと思います。ここにさらに、七棟にひけをとらない重要性をもつ旧体育館を加え、保存、活用されることを切望いたします。東京女子大学のレーモンド建築群は、1920 年から 23 年にかけて北米で展開された「東洋の七つの女子大学」校舎建築のための超教派のキリスト教諸教会の女性たちの熱心な募金活動の結果、建てられたものだと伺っていま

す。派を超え国を越え海を越えた連帯の見本である貴学の創立史に思いを馳せるとき、時を超えたその証であり続ける八棟のレーモンド建築をそなえたキャンパス全体は、国際的友愛の記念碑的存在に他ならず、その意義たるや計り知れません。

やはり学内外の声の広がりを受けて工事計画が変更となった上野の旧奏楽堂は、新奏楽堂建設のために移築を余儀なくされました。ところが、善福寺の旧体育館の場合、解体後の跡地に建物を建てる計画はないとの由です。幸いにも、移築せずとも他の建物と立派に共存できるのです。それどころか、新体育館解体後の跡地に確保しうる「オープンスペース」の要をなす全天候型の憩いのスポット、つまり新たな社交館として甦りうるのです。そのための財政的支援は、各方面から大いに期待できることでしょう。90年の栄えある伝統を有する東京女子大学が、そのような可能性に満ちた貴重な財産をみすみす失うことのないよう、そして旧体育館の解体計画を変更し、文化的環境保全に向かって栄光ある一步を踏み出されるよう、願ってやみません。体育兼社交館の復活は、建学の精神を支えとして21世紀の高等教育と経営戦略に乗り出すべき私立大学の指針ともなることでしょう。そしてそれは、女子大学の真の意味での<sup>ルネサンス</sup>再生を意味するに違いありません。

旧体育館には、暖炉のある部屋が五つあります。それぞれ形状を異にする趣ある暖炉です。建物全体が堅牢な構造であるのと同じく、暖炉も本格的な造りで、まだ十分使えます。暖かい火を囲んで憩えるスペースを五つもそなえた社交施設は、優に「クラブハウス」の名に値します。演武と演舞の繰り広げられる劇的な開放空間たる中央フロア。その両隣に設けられた親密な談話に絶好の小広間たち。大正期の社交教育の意気を今に伝えるこの宝石箱のような学び舎に、学生、教職員、卒業生、そして市民が、なごやかに集い、のびのび語り合う光景は、偉大な創設者たちの期待するところでありました。復活なった社交館は、東京女子大学のますますの発展を約束することでしょう。

聞くところでは、貴学は、慢性的な教室不足や、サークル活動のためのスペース不足に悩まされ、のみならず図書収蔵スペース不足という悩みも抱えておられます。本館に作られた新渡戸稲造記念室とはまた別に、旧体育館の一室を改装して大学の歩みを伝える記憶の場所とし、そこに図書資料（たとえば歴代卒業生の著作）を常備しておけば、学生たちに刺激と希望を与えてくれることでしょう。加えて、体育兼社交館を中心にして特色ある教育プログラムを打ち出せば、文部科学省からの支援も十分期待できます。補修費がかかるから云々の後ろ向きの発想はこのさいやめて、新築しなくとも上質の多機能空間をいくつも手にしうると考えれば、道はおのずと拓けてくるものです。

以上、貴学関係者各位に、謹んで進言させていただきます。とりわけ、大学運営に責任をもつ原田理事長のご英断を、切に要望する次第です。

2009年5月20日

## 東京女子大学旧体育館保存を要望する有識者の会

### 呼びかけ人代表：

前野まさる（東京藝術大学名誉教授、建築保存論・文化財保存計画、日本 ICOMOS（＝国際記念物遺跡会議）国内委員会委員長）

### 賛同者（☆は呼びかけ人、＊は東京女子大学卒業生）：

青柳いづみこ（ピアニスト、文筆家、大阪音楽大学教授）

青柳真智子（立教大学名誉教授、文化人類学・民俗学）＊

赤堀忍（建築家、芝浦工業大学教授）

浅見俊雄（東京大学名誉教授、元日本体育学会会長、スポーツ科学）

跡見順子（東京大学名誉教授、東京大学アイソトープ総合センター特任研究員）

跡見裕（杏林大学医学部長）

阿部守（福岡教育大学教授、彫刻家）

天野郁夫（東京大学名誉教授、教育社会学）

新井明（日本女子大学名誉教授、前敬和学園大学学長、英文学）

飯田善彦（建築家、横浜国立大学大学院教授）

池田香代子（翻訳家、元東京女子大学非常勤講師）

池田裕恵（東洋英和女学院大学教授、発育発達学）

池上恵子（成城大学短期大学名誉教授、英語学）＊

石井則孝（日本遺跡学会会長）

石井康智（早稲田大学教授、精神心理学）

伊東秀子（弁護士）

矢萩喜従郎（建築家、デザイナー）

岩倉成志（芝浦工業大学教授、土木計画学）

上野勝久（東京藝術大学大学院教授、建築史、文化財保存学）

内田青蔵（神奈川大学教授、建築史）☆

浦環（東京大学教授、海中ロボット工学、全日本学生競技ダンス連盟会長）

江口裕子（東京女子大学名誉教授、英文学）＊

大石泰（東京藝術大学演奏芸術センター准教授、元テレビ朝日音楽プロデューサー）

大川三雄（日本大学教授、建築史）

大西正幸（総合地球科学研究所上級研究員、言語学・ベンガル文学研究）

大藪郁子（劇作家）＊

小笠原彩子（弁護士）

小木曾友（(財) アジア学生文化協会理事長）

岡田章（日本大学教授、構造学）  
奥村昭雄（建築家、東京藝術大学名誉教授）  
奥村まこと（建築家、木曾三岳奥村設計所）  
小黒和子（元東京女子大学助教授、早稲田大学講師、英文学）＊  
尾崎左永子（歌人・作家）＊  
小幡由紀子（エッセイスト、NPO 法人地球ことば村理事）  
帯津良一（帯津三敬病院名誉院長、日本ホリスティック医学協会会長、日本ホメオパシー医学学会会長）  
柏木恵子（東京女子大学名誉教授、心理学）＊  
片山和俊（建築家、元東京藝術大学建築科教授）  
叶谷渥子（翻訳家、日本翻訳家協会常務理事）＊  
金山真人（建築家、日本建築家協会保存問題委員会元副委員長）  
兼松紘一郎（建築家、DOCOMOMO Japan 幹事長）☆  
加茂登志子（東京女子医科大学附属女性生涯健康センター所長、精神科医）  
川村和夫（関東学院大学名誉教授、英文学）  
川井万里子（東京経済大学名誉教授、英文学）＊  
喜久川政樹（株式会社ウィルコム代表取締役社長）  
北郷悟（彫刻家、東京藝術大学彫刻科教授）  
きたむらさとし（絵本作家、イラストレーター）  
北山恒（建築家、横浜国立大学大学院教授）  
木戸修（彫刻家、東京藝術大学彫刻科教授）  
木戸眞美（東北学院大学教授、人間情報・生命情報科学）  
窪龍子（実践女子大学人間社会学部教授、発達心理学）  
倉澤智（建築家、日本建築家協会保存問題委員会前副委員長）  
黒川哲郎（建築家、東京藝術大学美術学部建築科教授）  
黒羽亮一（大学評価・学位授与機構名誉教授、元日本経済新聞論説委員）  
桑名信匡（東京共済病院院長、脳外科学）  
桑原文子（東洋大学大学院教授、現代英米演劇）＊  
小池繁夫（航空機イラストレーター）  
古在由秀（国立天文台名誉教授、天文学）  
狐崎晶雄（元日本原子力研究所、(財) 高度情報科学技術研究機構研究参与、核融合）  
腰原幹雄（東京大学生産技術研究所准教授、建築構造）  
小西敏正（元宇都宮大学教授、建築構法）  
小林茂夫（京都大学大学院教授、生体情報処理）  
小宮山昭（建築家、ユニテ設計・計画代表、武蔵野美術大学講師）

小谷部育子（日本女子大学副学長、日本女子大学教授、建築家、住居学）  
近藤富枝（作家）＊  
近藤洋子（舞の会主宰）  
斉藤驍（弁護士、小田急等環境訴訟弁護団長）  
斎藤康代（東京女子大学名誉教授、英文学）＊  
阪田誠造（建築家、坂倉建築研究所最高顧問）  
佐藤ひろこ（中野区議会議員）＊  
寒川恒夫（早稲田大学教授、日本スポーツ人類学会会長、スポーツ人類学）  
椎原晶子（谷中学校主幹、建築文化財保存学）  
篠田靖子（金城学院大学名誉教授、アメリカ女性史）＊  
篠田義男（建築家、日本建築家協会保存問題委員会元委員長）  
柴田元幸（東京大学文学部教授、アメリカ文学）  
代田智明（東京大学大学院教授、中国文学）  
進藤咲子（東京女子大学名誉教授、日本語学）＊  
陣内秀信（法政大学教授、建築史）  
末永航（広島女学院大学教授、建築史・美術史）  
杉井和子（茨城大学人文学部教授、日本近代文学）＊  
杉森長子（元日本女子大学教授、アメリカ研究）＊  
鈴木佐和子（米国大使館広報・文化交流部）＊  
鈴木晶（法政大学国際文化学部教授、身体表現論）  
鈴木晋（イー・エフ・ユー・プランニング主宰、一級建築士）  
鈴木博之（青山学院大学教授、建築史、DOCOMOMO Japan 代表）☆  
関口秀紀（平凡社執行役員編集一部部長）  
関根勝（早稲田大学国際教養学院教授、Theatre Project Si 主宰）  
瀬戸内寂聴（作家）＊  
瀬戸山隆平（東京都教職員互助会三楽病院長、消化器・血管外科学）  
仙田満（建築家、日本建築学会元会長、日本建築家協会前会長）  
高山幹子（東京女子医科大学名誉教授、耳鼻咽喉科学）  
竹内裕二（建築家、竹内裕二建築事務所）  
田尻裕彦（建築ジャーナリスト、月刊『建築文化』元編集長）  
田尻三千夫（東京大学教授、ドイツ文学）  
蓼沼康子（城西大学教授、文化人類学）＊  
田部井淳子（登山家）  
田村照子（文化女子大学教授、日本家政学会会長、被服環境生理学）  
田中朱美（東京女子医科大学名誉教授、人体科学学会会長、神経精神医学）

田中宗隆（空間演出プロデューズ SPD 代表）  
田中泰子（大阪大学名誉教授、ロシア語・ロシア文学）  
谷川俊太郎（詩人）  
竺覚暁（金澤工業大学教授、建築史、金澤工業大学ライブラリーセンター館長・建築アーカイヴス研究所長）  
土田滋（元東京大学教授、元順益台湾原住民博物館館長、言語学）  
角田太作（東京大学大学院教授、言語学）  
堂本暁子（前千葉県知事）＊  
土岐知子（東京女子大学名誉教授、英文学）＊  
時枝俊江（記録映画監督）＊  
常田益代（北海道大学留学センター教授、美術史）  
鳥越けい子（青山学院大学総合文化政策学部教授、音楽学・サウンドスケープ論）  
鳥山明子（元日本基督教団荻窪南教会牧師）＊  
鳥山英雄（東京女子大学名誉教授、植物生理学）  
天外伺朗（作家、元ソニー上席常務、エンターテインメントロボット・アイボ製作責任者）  
永井路子（作家）＊  
永田晨（前自由学園理事長）  
永原和子（女性史研究者）＊  
永松慧一（演出家、NPO 法人地球ことば村副理事長、佐賀大学アドバイザー）  
中村牧子（華道家、NPO 法人地球ことば村理事）  
名古則子（元東寮寮監、現代美術家協会会員、元連歌協会常任理事）＊  
西澤英和（関西大学准教授、構造学）  
西澤泰彦（名古屋大学准教授、建築史）  
西谷さやか（元玉川大学教授、教育心理学）＊  
野口昌夫（東京藝術大学建築科教授、建築史）  
野沢正光（建築家、武蔵野美術大学客員教授）  
野呂有子（日本大学文理学部教授、英文学）  
灰島かり（翻訳家、白百合女子大学講師）  
蓮見音彦（元東京女子大学助教授、元東京学芸大学学長、社会学）  
長谷川洋三（ジャーナリスト、帝京大学教授）  
初田亨（工学院大学教授、日本建築学会建築歴史意匠委員会委員長、建築史）  
八田秀雄（東京大学大学院准教授、生命環境）  
早川邦彦（建築家、東京都市大学大学院客員教授）  
林和男（ぴあ（株）取締役 Co-founder、ぴあ総合研究所（株）代表取締役社長兼所長）  
原田鎮郎（建築家、愛知県立芸術大学・上海同済大学客員教授）

春木豊（早稲田大学名誉教授、元人体科学会会長、心理学）  
檜垣祐子（東京女子医科大学附属女性生涯健康センター副所長、皮膚心身医学）  
樋口恵子（評論家）  
平瀬徹也（東京女子大学名誉教授、フランス史）  
平野邦夫（東京女子大学名誉教授、日本古代史）  
平野卿子（翻訳家、ドイツ文学）  
平野健一郎（早稲田・東京大学名誉教授、国際文化論）  
平野光将（東京都市大学教授、原子力安全委員会専門委員）  
平松幸三（京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究科教授、環境学）  
福永哲夫（鹿屋体育大学学長、東京大学名誉教授、日本バイオメカニクス学会会長、スポーツ科学）  
福西浩（日本学術振興会北京研究連絡センター長、地球物理学）  
藤田千枝（科学読み物研究家）  
藤岡洋保（東京工業大学大学院教授、建築史）☆  
藤原房子（ジャーナリスト、日本記者クラブ会員、日本エッセイストクラブ会員）＊  
細川哲士（立教大学名誉教授、フランス文学）  
堀江薫（東北大学教授、言語学）  
堀川秀夫（建築家、日本建築家協会デザイン部元会長）  
益子義弘（建築家、東京藝術大学名誉教授）  
萬澤正美（東京都立大学名誉教授、ドイツ文学）  
松岡和子（演劇評論家、翻訳家）＊  
松隈洋（京都工芸繊維大学教授、建築史）☆  
松嶋哲瑛（建築家、建築構造）  
松本光弘（筑波大学名誉教授、(財)日本サッカー協会参与、運動学・サッカー方法論）  
三沢浩（建築家、アントニン・レーモンド研究）  
水谷静夫（東京女子大学名誉教授、国語学）  
南一誠（芝浦工業大学教授、建築構法計画）  
宮崎勝弘（日本民俗建築学会理事長、中野区文化財専門委員）  
宮原信（東京大学名誉教授、フランス文学）  
村上朝子（ジャーナリスト、元ジャパントイムズ記者、環境問題）  
村上雅也（建築家、千葉大学名誉教授、耐震工学）  
村上美奈子（建築家、杉並区都市計画審議会委員）  
元倉真琴（建築家、東京藝術大学美術学部建築科教授）  
本橋成一（写真家・映画監督）  
百々佑利子（児童文学者、元日本女子大学教授）＊



